

環境配慮個票

事業名	農業水路等長寿命化防災・減災事業	地区名	奈半利	受益面積	9.0ha
関係市町村名	奈半利町	予定工期	令和6年度～令和10年度		
総事業費	362,000千円	R7年度以降事業費		332,000千円	
総事業量	ため池改修 2箇所	R7年度以降事業量		ため池改修 2箇所	
マスタープランの区分	—	自然公園等の指定		無	
既存資料による希少種の情報の有無		有 (R6 環境調査資料)			
周辺の環境		本地区のある奈半利町は、高知市より東へ約60kmの地点にあり、南は太平洋に、西は奈半利川、東と北は野根山の支脈に囲まれた、東西7.0km、南北5.8km、面積28.30k㎡の町である。 気候は温暖で雨量が多く、年平均気温17℃、年平均降雨量2,160mmである。最も気温が高いのは8月で平均27.4℃、最も低いのは1月で平均6.5℃である。本地区の大部分は、豊かな緑に囲まれた田園空間を形成しており、ため池改修に際し、周辺環境への配慮と自然景観との調和を図ることが望まれている。			
地区の環境の特性		・概要 調査地は、高知県安芸郡奈半利町にある普光院ノ池および宮ノ岡池である。両池とも、海岸段丘上の谷地形に形成された谷池である。 普光院ノ池は泥や落葉等が堆積し、底質は全体的に非常に軟弱である。貯水池の6割程度は湿地状で草木が繁茂した状況にあり、水面が確認できる区域でも水深は浅く、水底が陸上から確認できる。貯水池の周囲は植林、草地や柑橘などの果樹畑からなる。 宮ノ岡池は堤体部は岸際から急深となっており、全体的に水深は深く、貯水池の上流部以外では水底は確認できない。貯水池の沿岸部は常緑広葉樹に囲まれているが、その後背地は概ね竹林と植林が占め、北側は舗装道路である。堤体下流側はまとまった草地が存在する。 ・植物 現地調査を行った結果、確認された植物は次のとおり。 ・普光院ノ池：42目90科257種（希少種：○○○、○○○、） ・宮ノ岡池：41目75科175種 ・昆虫 現地確認を行った結果、確認された昆虫類は次のとおり。 ・普光院ノ池：10目59科125種（希少種：○○○、○○○） ・宮ノ岡池：10目57科106種 ・昆虫以外の生物 調査時に目視等で確認した希少種は、次のとおり。 ・普光院ノ池：○○○、○○○、○○○、○○○ ・宮ノ岡池：確認なし ・特定外来生物 調査時に目視等で確認した種は、次のとおり。 ・普光院ノ池：確認なし ・宮ノ岡池：ブルーギル、オオクチバス			
配慮すべき事項		①希少な動植物への配慮 ②特定外来生物の駆除及び拡散の防止			
配慮方針		①仮設道路の短縮、ルート変更により生育環境を可能な限り残すとともに、工事前に採取、採捕し、貯水池内の不施工区域に移植・移動する。 ②特定外来生物の駆除及び、下流への流下を防止する。			